

新型コロナワクチンについて（5～11歳）

ワクチン接種を受ける前に

- 1 このワクチンは新型コロナ（SARS-CoV-2）による感染症（COVID-19）の予防・重症化を防ぐことを目的としております。小児に対するこれまでのワクチンによる発症予防効果は90%以上でしたが、オミクロン株に対しては予防効果が早く減衰するため51%に低下しています。しかし3回目接種後の中和抗体の上昇は2回目後の上昇の2倍あることが確認されており、今後の有効性が期待されております。

ワクチンは個人と社会を守ります。小児が感染した場合、重症化するリスクは極めて少ないものの、小児の兄弟・両親・祖父母の社会生活にも影響を及ぼします。また基礎疾患をもっている小児が感染しない、させないためにも、5～11歳の小児に3回目の追加接種を行う意義はあると思われれます。

- 2 3回目の追加接種ワクチンは1回目と2回目のワクチンと同様ファイザー社製：コミナティーです。2回目接種後5ヶ月以上経過した5歳から11歳までの小児に接種します。接種量・接種部位も1回目と2回目同様で、接種部位は上腕の三角筋（肩より少し下の筋肉）ですので、肩を出しやすい服装で来院して下さい。

ワクチン接種を受けた後に

- 1 ワクチン接種後15分はクリニック内あるいはクリニック近辺に待機して下さい。各自スマホなどでタイマーを15分設定し、15分経過してから帰宅をお願いします。
- 2 ワクチン接種を受けた日は激しい運動や遊びは避けて下さい。入浴・シャワーは行って構いません。
- 3 ワクチン接種後に見られる副反応
接種部位の疼痛は70～75%、頭痛は20～25%、発熱は3～6%、腋窩リンパ節の腫れは2%とされています。これらは接種2日以内に発症しますが、ほとんどが軽症で数日以内に軽快します。
- 4 接種後気になることがありましたら受診して下さい。